

「自由時間研究」投稿規程

1. 論文の募集と採否

- 1) 投稿内容は、レクリエーションに関する研究内容、実践報告とし、未発表のものに限る。
他の学術誌に投稿中の原稿と同じ内容で投稿すること（二重投稿）は認められない。
- 2) 筆頭投稿者（以下、投稿者と略称）は、下記に該当する者とする。共著の場合は、投稿者が下記該当者であればよい。なお、「自由時間研究」編集委員会（以下、編集委員会と略称）が原稿を依頼する場合はこの限りでない。
 - (1) 日本レクリエーション協会（以下、日本協会と略称）が課程認定校として承認し、認可された学校の養成課程主任教員または養成課程科目担当教員
 - (2) 日本協会が課程認定校として承認し、認可された学校に在学中の学生（大学院生含む）
 - (3) 日本協会の公認指導者
 - (4) その他、編集委員会に申し出て認められた者
- 3) 投稿者は、投稿原稿の種類を以下の中から選択することができる。なお原著論文は、編集委員会が依頼した複数の査読者による審査を経た学術論文とする。
 - ①原著論文…客観性・論理性・普遍性を備えた学術的価値の高い内容を持つオリジナルな研究成果をまとめたもの。
 - ②研究資料…学術的な資料性が高い研究成果等で、客観性・論理性・普遍性に検討の余地が残されているものの、速報性等があり公表する価値が認められるもの。
 - ③実践報告…実践的な事例調査をまとめた研究成果等で、客観性・論理性・普遍性に検討の余地が残されているものの、速報性等があり公表する価値が認められるもの。
- 4) 原著論文の採否については、編集委員会が最終決定を行う。査読の評価は、A（そのまま掲載可）、B（修正の上、掲載可）、C（修正の上、再審査）、D（掲載不可）、E（研究資料か実践報告としての掲載とする）のいずれかとし、原稿受理日から原則として3ヶ月以内に結果を通知する。

2. 執筆要項

- 1) 投稿原稿1編の長さは、原則として刷り上がり15頁（1頁は1,800字に相当）を上限とする。
抄録（和文400字以内）、本文、図、表、写真、文献などすべて投稿原稿1編の長さに含まれる。なお、図、表、写真は、それぞれ1点につき1枚の用紙を使用すること。
規程枚数を大幅に超過した投稿原稿は原則として採用しない。ただし、編集委員会で超過を認められた場合に限り、採用となるが超過分にかかる印刷費用は投稿者の負担となる。
- 2) 原著論文としての掲載を希望する場合に提出する投稿原稿は、オリジナル1ファイルと投稿者名・所属機関・謝辞・付記等を削除したコピー1ファイルの計2ファイルとする。研究資料または実践報告としての掲載を希望する場合は、オリジナル1ファイルのみの提出でよい。
- 3) 著者校正は原則として1回のみ行う。
- 4) 掲載原稿は原則として返却しない。
- 5) 論文原稿は、(1)表紙、(2)抄録、(3)本文（注・文献を含む）、(4)図、(5)表の順番で体裁を整えて提出すること。

注意：令和2年度は、「原著論文」の募集は行っておりません。「研究資料」または「実践報告」のいずれかを選択いただくこととなりますので、ご了承ください。

- (1) 表紙頁には、表題、著者名、所属機関、連絡先（E-Mail アドレスを含む）、キーワード（3～5語）を必ず明記する。
- (2) 抄録頁には、原著論文・研究資料・実践報告にかかわらず、和文抄録（400字以内）を添える。
- (3) 本文頁には、本文・注・文献などを記入する。なお、本文の作成にあたっては以下の点に留意すること。

①見出し記号を用いる際は、大見出しから順に、1. 2. …、1) 2) …、(1) (2) …、①②…、とする。

②数字は算用数字を用い、計量単位は国際単位系（SI）に準拠する。

③文献の記載は以下の方式に従う。

- ・本文中での文献の引用は、例1（著者1名）、例2（著者2名）、例3（著者3名以上）、例4（同一著者・同一年号）のように記すこと。

例1) 鈴木（2016）によれば…。または…などの報告もある（鈴木、2016；山田、2015）。

例2) 鈴木・山田（2013）によれば…。Suzuki and Yamada（2013）によれば…。

例3) 鈴木ほか（2012）によれば…。Suzuki et al（2012）によれば…。

…とされている（Suzuki et al、2012）。

例4) 鈴木（2016a）は…。鈴木（2016b）は…。

- ・文献リストの記載はアルファベット順とする。文献リストの著者名は、“ほか” “et al”と省略せず全著者名を記載する。人名は、姓を先、名を後に表記する。
- ・文献リストの書き方は以下のように統一すること。

<雑誌からの引用>

著者氏名（発行年）論文名、雑誌名、巻（号）数、引用頁ー引用頁

<書籍からの引用>

著者、編者氏名（発行年）書名、発行所、引用頁ー引用頁

<HPからの引用>

著者（WEBサイトの所有者）、WEB ページのタイトル、URL、アクセスをした年月日

- (4) 図および表の作成にあたっては、以下の点に留意すること。

①図・表は、それぞれ1点につき1枚の用紙を使用する。

②表は、表1、Table2のように通し番号を付け、題名を表の上部に記載する。

③図は、図3、Fig.4のように通し番号を付け、題名を図の下部に記載する。

④誌面はモノクロ印刷となるので、図・表はモノクロでも見やすいように工夫する。

3. 投稿方法

- 1) 投稿原稿は、Word ファイルを電子メールにて下記まで送付する。その際、所定の「投稿原稿チェックリスト」を添付すること。

E-Mail : n-rec@recreation.or.jp

公益財団法人日本レクリエーション協会「自由時間研究」編集事務局

〒110-0061 東京都台東区台東 1-1-14 ANTEX24 ビル7階

TEL : 03-3834-1093 FAX : 03-3834-1095

4. 費用

- 1) 掲載料は原則として無料だが、次の場合には投稿者にその実費を負担してもらう。
 - (1) 規定枚数を超過した場合（超過した頁分に対して1頁につき1万円）
 - (2) カラー印刷など特殊な印刷を要する場合
 - (3) 別刷を必要とする場合
(投稿者には掲載誌2部をお渡しします。別刷は50部単位で購入することができる)
 - (4) 投稿者が課程認定校の養成課程主任教員または養成課程科目担当教員、課程認定校在学中の学生以外の場合（掲載料は論文1本につき2万円）

5. 著作権

- 1) 掲載された投稿原稿の著作権は、日本協会に帰属する。ただし、投稿原稿の内容に関する責任は投稿者が負う。

6. 個人情報の保護

- 1) 調査研究の実施に際して、対象者のプライバシー保護は研究者に求められる重要な責務である。調査内容に関する情報を記載する際は、プライバシー保護に配慮し、対象者が特定されないよう留意すること。

7. 規程の改正

- 1) 本規程の改正は、日本協会内に設置する「自由時間研究」編集事務局が行い、編集委員会で承認を得る。

附則

2002年10月1日制定

2019年6月1日改正



投稿原稿チェックリスト

※投稿原稿のチェックを迅速に行うために下記のチェックリストを投稿原稿と合わせて提出してください。

なお、投稿にあたっては必ず「自由時間研究」投稿規程を参照してください。

項目	確認事項	チェック欄
投稿者情報	1) 筆頭投稿者は、投稿規程 1-2) の(1)～(4)に該当している	
	2) 筆頭投稿者の連絡先を、チェックリスト欄外下部に明記している ※③住所は、書類等送付先（現住所もしくは現勤務先住所）を記載 ※④TEL は、現在使用中かつ編集事務局から連絡できる番号を記載 ※⑤E-Mail は、現在使用中かつ編集事務局から連絡が届くアドレスを記載	
投稿内容	1) 投稿原稿は他誌に投稿していない未発表の内容である	
	2) 原著論文としての掲載を希望する場合、オリジナル 1 ファイルと投稿者名・所属機関・謝辞・付記等を削除したコピー 1 ファイルの計 2 ファイルを準備している（研究資料または実践報告は、オリジナル 1 ファイルのみ）	
	3) 本文は 45 文字×40 行（1,800 文字）を以て 1 頁とする	
	4) 投稿原稿 1 編の長さは、原則として刷り上がり 15 頁（1 頁は 1,800 字に相当）を上限とする。抄録（和文 400 字以内）、本文、図、表、写真、文献などすべて投稿原稿 1 編の長さに含まれる。	
	5) 論文原稿は、(1)表紙、(2)抄録、(3)本文（注・文献を含む）、(4)図、(5)表の順番で体裁を整えている	
	6) 表は、表 1、Table2 のように通し番号を付け、題名を表の上部に記載している	
	7) 図は、図 3、Fig. 4 のように通し番号を付け、題名を図の下部に記載している	

[筆頭投稿者 連絡先]

①氏名		②所属	
③住所	〒 -		
④TEL		⑤E-Mail	

[投稿原稿の種類]

希望するもの 1 つを選択	原著論文 ・ 研究資料 ・ 実践報告
---------------	--------------------

「自由時間研究」令和2年度発行計画

自由時間研究 第45号の発行計画は下記の通りになります。

時期	備考
令和2年3月末まで	掲載論文の受付
令和2年4月～5月	校正作業（掲載論文予定数：10本）
令和2年6月	印刷製本作業 → 発行